

福成会の

ちよつと素敵なお話

「後悔と少しの

喜び？・原動力？」

No.16



一回目の「ちょっと素敵な話」を書いたのは、入職して五、六年目ぐらいの頃でした。

まだ入職したころのしんどさや悩み、嬉しかったことなどもすぐ覚えていたように思います。それから数年。色々なことがありました。

働いてからのことを思い返してみると私は、「もっとできたことはなかったか？」と感ずることの方が多く、ぱっと「こんな素敵なことがあったなー」と思ったことよりも、「こんな風に、思うのは自分のエゴかも」と思ってしまった。

文章にするのはとても恥ずかしく、素敵には書けそうにありません。後悔しているような話を書きつづることになってしまいました。お付き合いいただけたら

と思います。

何をそんなにウジウジ考えるのか？なんです、特に「私自身の知識のなさで選
択ができない状態にしてしまった方」や、「緊急の場面で判断が必要な場面」での
自分の対応についてです。

他にも、もっとこうすればよかったなと思うことなんて山ほどありますが…。

そういった場面を思い出すたびに、「あの時、私がもっと早く気が付けていたら
…」、「なんでこんな風に話できなかったのか？」というような後悔のような気持ち
が湧いてきます。

そして、長くこの仕事を続けることで、視野も広がり、選択の幅が広がったか？
と言われるとそうでもなく、逆に選択できないことも出てきたようにも思います。

しかし、長く働いてきたことでたくさんのお客様に出会うことができず、私が、色々感じているように利用者さんも私のことをすっかり記憶に残してくれている方もいて、久しぶりにお会いしても名前を呼んでくれたり、自分の近況を教えてくださいします。

笑顔を見せてくれることだけで、仕事を続けられて良かったなども感じられます。単純ですね。ちょっとしたことですが、うれしくてこちらも笑顔になり、元氣がもらえているなど感じる瞬間でもあります。

私自身は、後悔が強く記憶に残っていますが、利用者さんが良い記憶を残してくれているのであればうれしいです。話しかけてくれたりするのは、過去の自分のおこないの結果だとも思っています。

これらもきつと「ウジウジ」後悔することがなくなることはないですが、過去の自分に恥ずかしくないように、皆さんの笑顔を少しでも支えられるような仕事が続けられたらと思います。